

『予防接種を受ける前に』

◎接種を受ける前の注意事項

予防接種は体調の良い日に行うことが原則です。現在治療を受けている場合は主治医に相談してください。

次の場合は予防接種ができません。

①明らかな発熱（37.5℃以上）がある場合

②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合

※予診票は、接種を受ける方が責任を持って記入してください。

◎接種を受けた後の注意事項

- ①当日の入浴は差し支えありませんが、接種部位は強くこすらないようにしましょう。
- ②接種当日は、いつもどおりの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒はさけましょう。

◎他の予防接種との間隔は？

新型コロナワクチンと他のワクチンとの同時接種は医師が特に必要と認めた場合に可能です。また、他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。

◎予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金の給付など)が受けられます。

申請に必要な手続きなどについては、龍郷町役場保健福祉課へご相談ください。

新型コロナワクチンの詳しい情報については、
厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚生 コロナ ワクチン

検索

◎新型コロナウイルスの副反応は・・・

●接種後、すぐに現れる可能性のある症状について

接種 日 当 日	アナフィラキシー	・薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。 ・じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下(呼びかけに反応しない)を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。 ・起こることは極めてまれですが、接種後にもアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では、医薬品などの準備をしています。
	血管迷走神経反射	・ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。 ・誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。 ・倒れてケガをしないように、背もたれのある椅子に座って様子を見てください。

●接種後、数日以内に現れる可能性のある症状について

数 日	発現割合	症状
	50%以上	接種部位の痛み、頭痛、疲労
	5～50%	注射部位の腫れ、発赤・紅斑、下痢、筋肉痛、関節痛、悪寒、発熱、注射部位と同じ側の脇の腫れや痛み
	1～5%	嘔吐

●頻度としてはごく稀ですが、ワクチン接種後に心筋炎や心膜炎を疑う事例が報告されています。接種後数日以内に胸の痛みや動悸、息切れ、むくみ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。

●ワクチン接種後にギラン・バレー症候群が報告されています。接種後、手足の力が入りにくい、しびれ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。

<問い合わせ先> 保健福祉課 健康増進係 ☎：0997-69-4514